

平成 20 年度
日本臨床検査医学会 評議員会だより

日 時：平成 20 年 11 月 27 日(木)17:00~18:30
場 所：名古屋国際会議場 第 1 会場
(4 号館 1F 白鳥ホール 1)

評議員会の開会にあたり、議長の推薦をお願いしたところ、高木康総務理事の推薦があり議長として指名された。

開会に先立ち、名誉会員の清水章先生 70 歳(2008/1/30)、竹内純先生 80 歳(2008/3/9)、藤巻道男先生 82 歳(2008/11/9)の逝去を悼み黙禱がなされ、宮澤幸久理事長より挨拶があった。その後、高木康総務担当理事が議長となり、委任状が 107 通で出席者(約 140 名)と合わせ評議員数(280 名)の 5 分の 1 以上(56 名以上)の出席を満たしており、この会は成立することが告げられ議事が進行された。

【報告事項】

1. 各種委員会報告(高木康 総務理事)

本年度の理事会での主な委員会報告がなされた。

1) 学術推進化委員会

①平成 17・18 年度学術推進プロジェクト研究の最終報告 10 件が提出されて、担当委員と委員長が点検して、すべて適正と判断された。英語原著論文 2 件、臨床病理原著論文 3 件、臨床病理総説 4 件である。

②第 3 回(H21・22)学術推進プロジェクト研究：臨床病理誌 10 月号にて研究課題を募集する。

2) 編集委員会

①平成 20 年 9 月号より、臨床病理投稿規程が一部改定された。

3) 臨床検査点数委員会

①本年度は専門医会と協調して開催していくこととした。

②医療ニーズの高い医療機器に関する要望調査があり、評議員にアンケートを行った上委員会で検討して要望した。また、今回の診療報酬改定後の実態調査および次期改定への準備のため、評議員へのアンケート調査を行った。

4) 教育委員会

①臨床検査専門医卒後研修カリキュラムを本年 1 月

1 日付作成して臨床病理 2 月号にも掲載した。

今後は、卒後研修手帳、指導医ガイドラインの作成を予定している。

5) ガイドライン作成委員会

①臨床検査のガイドライン 2008/2009 として、2009 年前半に発行予定。

6) 臨床検査室医療評価委員会

①「病院内検査室の満たすべき要件(案)」の実用化を目指し、「臨床検査室医療評価指標計算プログラム開発」について、学術推進プロジェクト研究班と共同で作業を進めている。

7) 学会賞委員会

平成 21 年度学会賞の変更事項について

①現在ある功労賞をなくして、Bergmeyer-Kawai 賞を功労賞の意味合いを持つ賞とすることとなった。賞の名称については、変更の可能性あり。

②学会賞 生命科学賞、優秀賞の副賞について 50 万円から 30 万円に、奨励賞については 5 万円から 10 万円にすることとなった。

2. 第 56 回日本臨床検査医学会学術集会報告

(松野一彦 会長)

①平成 21 年 8 月 26 日(水)~30 日(土)、札幌コンベンションセンターで、松野一彦会長のもと開催されることが報告され、松野会長より一言御挨拶がなされた。

3. 第 57 回日本臨床検査医学会学術集会報告

(宮澤幸久 会長)

①平成 22 年 9 月 9 日~12 日、京王プラザホテル(東京)で、宮澤幸久会長のもと開催されることが報告され、宮澤幸久会長より一言御挨拶がなされた。

4. 北海道支部、東海・北陸支部、九州支部長の交代について(宮澤幸久 理事長)

1) 北海道支部長

松野一彦先生に交代 (伊藤喜久先生より)

理由：辞任のため

2) 東海・北陸支部長

登 勉先生に交代 (溝上雅史先生より)

理由：他支部へ転勤のため

3) 九州支部長

山根誠久先生に交代 (犀川哲典先生より)

理由：支部の交代時期のため

上記支部長の交代が報告された。なお、今後の交代は本部の理事・監事改選の時期に合わせて頂く予定である。

5. 定款・細則改定案について(高木 康 理事)

本年 12 月 1 日から一般社団法人へ移行するため、定款・細則の改定を行ったことが報告された。なお、大きな改定箇所は、評議員が社員となることである。

6. 「医療安全委員会」設置について

(宮澤幸久 理事長, 米山彰子 理事)

本会として臨床検査にかかわる医療安全の推進を図り、また、医療安全全国共同行動への対応もするため「医療安全委員会」を設置することとなり、各支部からも委員を選定したことが報告された。

7. 学術推進化委員会委員長交代について

(宮澤幸久 理事長)

学術推進化委員会前委員長の辞任に伴い、応急的に担当理事の矢富裕先生が務めたが、現在、委員会活動が順調のため、平成 21 年 1 月からは委員の一人である安東由喜雄先生に委員長を交代することが報告された。

8. 簿外預金の基金への組み入れについて

(玉井誠一 会計理事)

任意団体に残しておいた 1000 万円を、一般社団法人後に移行した場合、課税の可能性があるので、それ以前に基金に組み入れることとなったことが報告された。

9. 会員証発行、学術集会、総会、例会、地方会等での利用について(高木 康 総務理事)

専門医更新等の単位確認を学会が行うことが、日本専門医評価・認定機構での専門医制度整備指針の必要事項の一つとなっていることもあり、本会会員証として、QR コードを利用し、本人確認のため顔写真入りのものを作成して、学術集会、支部総会、例会、地方会で、受付にカードリーダーを設置して会員全員の参加登録を行っていくことが報告された。

10. 臨床検査科が標榜科認可される意義、その見解について(宮澤幸久 理事長)

標榜科委員会で協議した見解としては、「医療の質を保証し国民の健康を推進するためには、臨床検査が安全かつ適切に行われ、その情報が適切に医師や患者に提供されているかを検証するとともに、臨床検査を適切に実施しその結果を正しく解釈するための専門診療科の存在が必須である。臨床検査科では、検診などで検査異常を有する患者、検査異常についてのセカンドオピニオンを希望する患者、他の医師から紹介された検査異常のある患者などを対象として、検査結果の専門家的解釈や診断確定のための検査計画作成など、アドバイスと検査実施を行う。」ことを基本として、各機関・施設毎に合うような形で標榜科がなされ、外来が開設されること、活用されることで、より広く周知されていくことが望ましいと報告された。

11. 日本専門医認定制機構 本会専門医制度の認定について(高木 康 総務理事)

日本専門医評価・認定機構の専門医制度整備基準の沿い整備事項を提出、ヒアリングを受けて、本会臨床検査専門医制度は基準に沿ったものと認定された。なお、認定期間は 3 年間(H19/11/5~H22/11/4)であり認定証が発行されたことが報告された。

12. 技師の検査説明範囲について

(宮澤幸久 理事長)

昨年 12 月検査技師が 20ml を超えて採血することの許可を厚生労働省に求めた学会からのお願いに対し、平成 20 年 1 月初旬「貴見のとおりと思料する」との返答があった。その御礼を兼ね 2 月中旬、渡辺前理事長と宮澤理事長が厚労省医政局を訪問した。その際、「技師の検査説明範囲」についても質問をした。返答は「原則的には、検査(前)の説明にとどめる」。ただし、採血量における考え方と同様に、医師の指示・管理下において行う際には、その詳細や内容については、各医療機関によって決定された規定内で実施してもよい。あくまで、問題が生じないよう、各医療機関でコンセンサスを受けた範囲で行うようにとのことであったことが報告された。

13. 微量採血器具の使い回しの対応について

(宮澤幸久 理事長, 米山彰子 理事)

本年, 微量採血のための穿刺器具の使い回しの問題でマスコミ報道について, 本学会では 2006 年にすでに当学会誌, メールニュースで周知していたが, 厚生労働省からの事務連絡があったため, 再度本年 6 月にあらためて評議員に周知のためのメールを送付したことが報告された。

14. 第 10 回 ASCPaLM(モンゴル)開催延期について(高橋伯夫 副理事長)

2008 年 9 月 10~11 日にモンゴル ウランバートルで開催予定だったが, モンゴルで不正選挙での暴動が起り治安悪化したため, 本年度の開催は見送り延期されることとなったことが報告された。

15. 第 25 回 WASPaLM 大会について(シドニー 2009/3/13~15)(高橋伯夫 副理事長)

2009 年 3 月 13 日(金)~15 日(日), オーストラリアのシドニーに於いて開催予定(Royal College of Pathologists of Australasia と合同開催)であり, また第 26 回 WASPaLM 大会は 2011 年秋にアメリカで開催予定であることが報告された。

16. その他

なし。

【審議事項】

1. 平成 19 年度会計収支決算報告

(玉井誠一 会計理事)

平成 19 年度会計収支決算報告書が提示され, 玉井誠一会計理事より説明があった。続いて, 戸谷誠之監事より会計監査報告があり承認された(後頁に掲載)。

2. 平成 20 年度会計中間報告について

(玉井誠一 会計理事)

平成 20 年度会計決算中間報告について説明のうえ報告があり承認された(後頁に掲載)。

3. 平成 21 年度会計予算案について

(玉井誠一 会計理事)

平成 21 年度予算案が提示され, 承認された(後頁

に掲載)。

4. 平成 20 年度事業報告について

(高木康 総務理事)

平成 20 年度事業報告が提示され, 承認された(後頁に掲載)。

5. 平成 21 年度事業計画(案)について

(高木康 総務理事)

平成 21 年度事業計画(案)が提示され, 承認された(後頁に掲載)。

6. 平成 21 年度新功労会員の推薦について

(宮澤幸久 理事長)

各支部から推薦され理事会で承認された下記 11 名が功労会員として提示され承認された。

藤田昌宏(北海道支部),
小亀圭司, 佐々木 毅(東北支部),
青野悠久子, 池田 斉, 内山幸信, 勝山 努,
佐藤豊二, 須藤加代子(関東甲信越支部),
牧野英一(中国・四国支部),
小野順子(九州支部)

7. 平成 21 年度新評議員の推薦について

(宮澤幸久 理事長)

各支部から推薦され理事会で承認された下記 6 名が評議員として提示され承認された。

市川徹郎, 下 正宗, 渡辺眞一郎(関東甲信越支部),
米田孝司(近畿支部), 周防武昭(中国・四国支部),
佐川公矯(九州支部)

なお, 次年度からは, 推薦できる評議員数を正会員数(名誉・功労会員, 学生会員を差引いた人数)の 10%で算出し, また県別, 同一施設の推薦数が片寄らないようにすることが報告された。

8. 第 58 回(2011 年)日本臨床検査医学会学術集会長について(宮澤幸久 理事長)

中国・四国支部から小出典男先生(岡山大)が推薦され, 承認された。そして, 小出典男先生が欠席のため, 代理で岡田健技師長から一言御挨拶があった。

日本臨床検査医学会ニュース

9. 臨床検査を終了した検体の業務, 教育, 研究のための使用について—見解—の改定について

(宮澤幸久理事長)

本年, 検査終了した残余検体について問題が生じたため, 2002年に作成した本見解を改訂することになり, 評議員から意見を募集し, 倫理委員会で議論した改訂点が報告された。また, 更に委員会で協議して改訂案を作成していくこととなった。

10. その他(高木 康 総務理事)

平成21年度理事会, 定時社員総会日程について第1回理事会は平成21年3月29日(日)13:00~14:00で, また平成20年度に関する定時社員総会を平成21年3月29日(日)15:00~16:00に開催予定であることが報告された。

【閉会】

高橋伯夫副理事長から閉会の挨拶があり, 評議員会は閉会となった。

平成20年度 第4回日本臨床検査医学会
臨床検査専門医・管理医審議会だより

日 時: 平成20年12月20日(土)12:00~14:00

場 所: 日本臨床検査医学会 事務所

出席者: 宮澤幸久委員長, 高橋伯夫, 松野一彦,
高木 康, 土屋達行, 佐藤尚武,
水口國雄 各委員(7名)

欠席者: 渡邊 卓, 村田 満 各委員(2名)

委員長挨拶

宮澤幸久委員長より開会の宣言があり議事が進行された。

報告事項

1. 研修施設・指導者認定委員会報告

(松野一彦 委員長)

①2009年1月1日付, 新規申請, 再認定, その他施設審査結果について

2009年1月1日付として, 新規申請3施設について認定病院2年と認定, 再認定申請22施設あり14施設が認定病院5年, 3施設が認定病院2年, 5施設が準認定病院2年と認定, また保留後の申請1施設

あり準認定病院2年と認定, そして準認定病院から認定病院への申請3施設が認定病院2年と認定された。

申請施設に, 認定研修施設規定2-5の本学会への研究成果報告がなされていない施設があり検討され, 今回は認定することとするが, 次回申請時は, 認定するためには学会報告を条件とすることとした。

2. 受験・更新資格審査委員会報告(土屋達行 委員)

①2009年1月1日付, 臨床検査専門医更新者の審査結果について

2009年1月1日付, 更新対象者65歳以上100名, 64歳以下91名(保留後申請1名および保留延長希望1名含)について, 65歳以上87名と64歳以下80名を有資格, 保留申請者3名および保留延長希望者1名には保留可とし, 未提出者20名は申請により更新可また申請無い場合は保留可とした。

3. その他

特になし。

審議事項

1. 平成20年度臨床検査管理医申請・認定について
(高橋伯夫 委員)

平成20年度臨床検査管理医申請者資格 A:71名, B:47名, C:9名, D:147名, E:2名, F:1名, G:11名, H:6名, 合計294名はそれぞれの資格毎に申請に必要な手続をしており認定を承認した。

なお, 資格Bでの1名は申請費用未納であるため, 納入後に認定することとした。

2. 平成21年1月1日付評議員の再認定について

(宮澤幸久 委員長)

10名の本申請対象者について, 全員が単位を満たしており再任が承認された。

2006年より保留している5名については, 審議の上, 再任不可とした。

3. 新カリキュラムと臨床検査専門医認定試験について(高木康 委員, 佐藤尚武 委員)

本年1月に臨床検査専門医卒後研修カリキュラムが改定され, これに伴い臨床検査専門医認定試験の内容について見直しをすべき箇所について検討され,

それぞれの分野毎に再検討していくこととなった。
また、それに従い、臨床検査専門医会で行っている教育セミナー内容も変更していくこととした。

また、専門医会より教育セミナー以外に、専門医資格を有している医師に対し、生涯教育的内容のセミナーの実施を計画しているが、認定期間中に最低1回の受講を臨床検査専門医の更新要件とする要望があり、学術集会時に開催する方向で検討すること

となった。

4. 厚生労働省「医師国家試験での検査値に関する修正」についての意見(高木康 委員)

厚生労働省から本件について高木委員に問合せがあり、検査値(案)の相談があった。

5. その他

特になし。

日本臨床検査医学会ニュース

資料

収支報告書

平成19年1月1日～平成19年12月31日

日本臨床検査医学会有限責任中間法人

①=②+③+④+⑤

②

	合計			一般会計		
	a 予算	b 実績	c=b-a 予算実績差額	a 予算	b 実績	c=b-a 予算実績差額
I 収入の部						
1 会費収入						
1 個人会費	32,000,000	36,336,000	4,336,000	32,000,000	36,336,000	4,336,000
2 学生会員	0	448,000	448,000	0	448,000	448,000
3 功労会員	900,000	1,162,000	262,000	900,000	1,162,000	262,000
4 評議員会員	299,000	370,000	71,000	299,000	370,000	71,000
5 賛助会員	5,000,000	4,800,000	-200,000	5,000,000	4,800,000	-200,000
6 臨時会員	1,000,000	964,000	-36,000	1,000,000	964,000	-36,000
2 事業収入						
1 専門医試験受験料	2,000,000	1,310,000	-690,000	2,000,000	1,310,000	-690,000
2 専門医再試験受験料	0	140,000	140,000	0	140,000	140,000
3 専門医登録料	900,000	690,000	-210,000	900,000	690,000	-210,000
4 専門医更新料	700,000	552,000	-148,000	700,000	552,000	-148,000
5 臨床検査管理医収入	2,100,000	4,075,000	1,975,000	2,100,000	4,075,000	1,975,000
6 管理医セミナー受講料	1,000,000	1,480,000	480,000	1,000,000	1,480,000	480,000
7 会議室使用料収入	450,000	1,245,120	795,120	450,000	1,245,120	795,120
8 検査診断辞典編集協力収入	0	120,000	120,000	0	120,000	120,000
9 検査コード収入	0	2,000	2,000	0	2,000	2,000
10 外販収入	18,000,000	11,757,304	-6,242,696	18,000,000	11,757,304	-6,242,696
11 広告収入	6,000,000	5,191,200	-808,800	6,000,000	5,191,200	-808,800
12 別冊代収入	800,000	330,330	-469,670	800,000	330,330	-469,670
13 超過代収入	0	472,500	472,500	0	472,500	472,500
14 カラー代収入	0	682,500	682,500	0	682,500	682,500
15 文献予稿許諾	400,000	483,708	83,708	400,000	483,708	83,708
16 名簿広告料	0	0	0	0	0	0
3 学術大会収入						
1 展示会分配金	12,000,000	12,000,000	0	12,000,000	12,000,000	0
4 寄付金収入						
1 学会賞基金寄金	0	0	0	0	0	0
2 シメックス(株)	500,000	500,000	0	0	0	0
3 ロジックイノベーション(株)	0	0	0	0	0	0
4 第一化学薬品(株)	500,000	500,000	0	0	0	0
5 雑収入						
1 第53回学術集会より	0	1,585,891	1,585,891	0	1,585,891	1,585,891
2 事務所敷金返戻収入	2,031,000	2,031,000	0	2,031,000	2,031,000	0
3 事務所移転収入	2,000,000	4,660,000	2,660,000	2,000,000	4,660,000	2,660,000
4 第9回ASCPaLM会議事務局より	0	1,000,000	1,000,000	0	0	0
5 その他	0	427,500	427,500	0	427,500	427,500
6 受取利息						
1 受取利息	18,800	154,685	135,885	1,000	7,851	6,851
(A)	88,598,800	95,470,738	6,871,938	87,581,000	93,323,904	5,742,904

日本臨床検査医学会ニュース

収支報告書

平成19年1月1日～平成19年12月31日

日本臨床検査医学会有限責任中間法人

①=②+③+④+⑤

②

	合計			一般会計		
	a 予算	b 実績	c=b-a 予算実績差額	a 予算	b 実績	c=b-a 予算実績差額
II 支出の部						
1 事業費						
1 学会誌発行費用	30,000,000	25,787,288	-4,212,712	30,000,000	25,787,288	-4,212,712
2 諸会費	1,500,000	1,500,162	162	1,500,000	1,500,162	162
3 名簿制作費	0	0	0	0	0	0
4 支部活動補助金	2,800,000	2,725,000	-75,000	2,800,000	2,725,000	-75,000
5 各種委員会補助金	2,500,000	2,234,881	-265,119	2,500,000	2,234,881	-265,119
6 学進プロジェクト研究補助	0	2,500,000	2,500,000	0	2,500,000	2,500,000
7 記念品製作費用	0	1,645,350	1,645,350	0	1,645,350	1,645,350
8 臨床検査がトライン補助	1,000,000	0	-1,000,000	1,000,000	0	-1,000,000
9 総会補助金	17,000,000	18,000,000	1,000,000	17,000,000	18,000,000	1,000,000
10 専門認定試験費用	2,000,000	2,000,000	0	2,000,000	2,000,000	0
11 臨床検査管理医費用	600,000	747,651	147,651	600,000	747,651	147,651
12 教育研究会補助GLMWS	150,000	150,000	0	150,000	150,000	0
13 学会賞副賞	2,500,000	1,250,000	-1,250,000	0	0	0
2 管理費						
1 給与・手当	5,000,000	4,267,520	-732,480	5,000,000	4,267,520	-732,480
2 事務委託費	1,500,000	1,155,000	-345,000	1,500,000	1,155,000	-345,000
3 法定福利費	700,000	569,785	-130,215	700,000	569,785	-130,215
4 交通費	3,500,000	3,252,135	-247,865	3,500,000	3,252,135	-247,865
5 顧問料	1,025,000	1,025,000	0	1,025,000	1,025,000	0
6 通信費	1,000,000	1,281,137	281,137	1,000,000	1,281,137	281,137
7 会議費	800,000	878,617	78,617	800,000	878,617	78,617
8 法人化諸費用	0	60,000	60,000	0	60,000	60,000
9 地代・家賃	5,500,000	4,710,820	-789,180	5,500,000	4,710,820	-789,180
10 水道光熱費	500,000	309,479	-190,521	500,000	309,479	-190,521
11 事務用品費	1,200,000	1,372,184	172,184	1,200,000	1,372,184	172,184
12 消耗品費	500,000	270,700	-229,300	500,000	270,700	-229,300
13 事務所警備費	0	151,200	151,200	0	151,200	151,200
14 事務所清掃料	0	257,599	257,599	0	257,599	257,599
15 事務所移転費用	5,000,000	2,158,271	-2,841,729	5,000,000	2,158,271	-2,841,729
16 事務所不動産仲介手数料	0	471,082	471,082	0	471,082	471,082
17 支払敷金	0	3,589,200	3,589,200	0	3,589,200	3,589,200
18 修繕費	0	241,080	241,080	0	241,080	241,080
19 建物付属設備の購入	500,000	263,550	-236,450	500,000	263,550	-236,450
20 雑費	714,000	171,961	-542,039	700,000	165,346	-534,654
21 法人税・住民税・事業税	1,900,000	0	-1,900,000	1,900,000	0	-1,900,000
22 予備費	706,000	0	-706,000	706,000	0	-706,000
当期支出計 (B)	90,095,000	84,996,652	-5,098,348	87,581,000	83,740,037	-3,840,963
当期収支差額 (C=A-B)	-1,496,200	10,474,086	11,970,286	0	9,583,867	9,583,867

日本臨床検査医学会ニュース

平成20年度決算中間報告(平成20年1月1日～6月30日) 税込(単位:円)

一般会計	20年度 予算案	20年度 中間執行額	19年度 中間執行額
収入			
個人会員年会費	32,000,000	22,554,000	26,457,000
功労会員会費	1,000,000	364,000	763,000
評議員会費	300,000	171,000	250,000
賛助会費	5,000,000	4,599,475	4,300,000
臨時会費	1,000,000	168,000	88,000
日本医学会分科会助成金	0	0	0
専門医認定試験受験料	2,000,000	1,310,000	1,450,000
専門医登録料	900,000	0	0
専門医登録更新料(対象者58名)	600,000	540,000	542,000
管理セミナー受講費	1,800,000	600,000	840,000
管理医申請費	2,800,000	1,550,000	1,885,000
雑収入(英文許諾使用料, 予稿集利用許諾料等)	500,000	274,935	206,967
預金利息	30,000	9,203	27,490
共催展示会収入	12,000,000	0	0
名簿広告料	700,000	0	0
出版事業収入 外販収入	18,000,000	7,958,829	5,893,935
出版事業収入 広告収入	7,000,000	2,116,800	2,116,800
出版事業収入(別刷り代、他)	1,000,000	527,835	432,075
臨床検査ガイドライン冊子収入	1,000,000	0	—
検査診断事典著作権使用料等収入	1,600,000	0	120,000
会議室使用料等	1,500,000	1,035,120	376,670
第54回学術集会より	—	3,249,876	1,585,891
事務所保証金返金(高橋ビル分)	0	0	2,031,000
移転費用等保証金(三井ビル分)	0	0	4,660,000
環境省冊子配布実費用収入	—	0	425,500
基金として受入れ	—	0	0
合計	90,730,000	47,029,073	54,451,328
支出			
出版事業原価	30,000,000	11,930,120	11,344,277
諸会費	1,700,000	1,349,650	1,350,550
名簿製作代	1,000,000	0	0
支部活動補助金	3,000,000	2,765,500	2,725,000
各種委員会補助金	2,500,000	1,609,158	1,342,531
学術推進プロジェクト研究費補助金	2,500,000	2,500,000	0
臨床検査ガイドライン冊子製作費	3,000,000	0	0
ICカード導入、発行費用	2,500,000	0	—
第55回、第56回総会補助金	5,000,000	5,000,000	5,000,000
共催展示会分総会補助金	12,000,000	0	0
専門医認定試験費用	2,000,000	2,000,000	2,000,000
管理医認定関係(セミナー、他)	1,000,000	1,144,748	658,763
教育研究会補助(GLM WS)	150,000	150,000	150,000
会議費	800,000	305,173	420,638
交通費	3,500,000	1,224,615	1,330,065
通信費、電話料	1,300,000	739,847	856,687
事務用品、印刷代、リース代	1,500,000	738,047	540,808
事務員人件費	5,000,000	1,827,713	1,706,354
事務委託費	1,500,000	735,000	630,000
事務所賃借料	5,700,000	2,826,492	1,884,328
事務所諸経費(警備費、清掃費)	560,000	277,200	131,599
事務所備品代	500,000	0	0
事務所移転費用等	0	0	3,058,173
事務所保証金(UIビル分)	—	0	3,589,200
水道光熱費	500,000	156,791	154,676
顧問料	1,025,000	1,025,000	1,025,000
法定福利費	700,000	443,251	313,307
消耗品費	500,000	99,583	144,266
雑費	700,000	90,195	94,164
一般社団法人への移行関係	200,000	0	—
租税公課	—	0	60,000
法人税・住民税・事業税(平成18・19年度分)	70,000	665,300	0
予備費	325,000	0	0
アスベスト関連パフレット配布費用	—	0	241,500
基金として支払い	—	0	0
合計	90,730,000	39,603,383	40,751,886
収支差額	0	7,425,690	13,699,442
前年度繰越金	18,853,859	29,668,228	18,853,859
後期繰越金	18,853,859	37,093,918	32,553,301

特別会計	20年度 予算案	20年度 中間執行額	19年度 中間執行額
収 入			
預金利息	90,000	62,489	21,828
合 計	90,000	62,489	21,828
支 出			
雑費	3,000	315	5,416
合 計	3,000	315	5,416
当年度収支差額	87,000	62,174	16,412
前年度繰越金	78,247,925	78,325,578	78,247,925
後期繰越金	78,334,925	78,387,752	78,264,337

アジア交流基金	20年度 予算案	20年度 中間執行額	19年度 中間執行額
収 入			
第9回ASCPaLM会議より補助金返戻金	—	0	1,000,000
預金利息	7,000	4,597	1,478
合 計	7,000	4,597	1,001,478
支 出			
アジア臨床病理学会議への補助金	0	0	0
雑費	1,000	0	295
合 計	1,000	0	295
当年度収支差額	6,000	4,597	1,001,183
前年度繰越金	4,755,232	5,760,919	4,755,232
後期繰越金	4,761,232	5,765,516	5,756,415

学会賞基金	20年度 予算案	20年度 中間執行額	19年度 中間執行額
収 入			
ロシュからの協賛金	1,000,000	0	0
第一化学からの協賛金	500,000	0	0
シスメックスからの協賛金	500,000	0	0
預金利息	35,000	27,370	8,356
合 計	2,035,000	27,370	8,356
支 出			
学会賞（副賞）	2,500,000	0	0
雑費	10,000	420	3,036
合 計	2,510,000	420	3,036
当年度収支差額	△ 475,000	26,950	5,320
前年度繰越金	33,813,191	33,590,714	33,813,191
後期繰越金	33,338,191	33,617,664	33,818,511

平成20年度日本臨床検査医学会中間報告について、上記の通り報告致します。

平成20年10月31日

理事(会計担当) 玉井 誠一 (印)

日本臨床検査医学会ニュース

平成21年度予算案 (平成21年1月1日～12月31日)

一般会計	20年度 予算案	21年度 予算案	差 額
収 入			
個人会員年会費	32,000,000	32,000,000	0
功労会員会費	1,000,000	1,000,000	0
評議員会費	300,000	290,000	△ 10,000
賛助会費	5,000,000	5,000,000	0
臨時会費	1,000,000	1,000,000	0
日本医学会分科会助成金	0	0	0
専門医認定試験受験料	2,000,000	2,000,000	0
専門医登録料	900,000	900,000	0
専門医登録更新料	600,000	1,000,000	400,000
管理医セミナー受講費	1,800,000	2,000,000	200,000
管理医申請費	2,800,000	3,500,000	700,000
雑収入(英文許諾使用料, 予稿集利用許諾料等)	500,000	500,000	0
預金利息	30,000	30,000	0
共催展示会収入	12,000,000	12,000,000	0
名簿広告料	700,000	0	△ 700,000
出版事業収入 外販収入	18,000,000	18,000,000	0
出版事業収入 広告収入	7,000,000	6,000,000	△ 1,000,000
出版事業収入(別刷り代、他)	1,000,000	1,000,000	0
臨床検査がイドライノ冊子収入	1,000,000	1,500,000	500,000
検査診断事典著作権使用料等収入	1,600,000	1,600,000	0
会議室使用料等	1,500,000	1,500,000	0
合 計	90,730,000	90,820,000	90,000
支 出			
出版事業原価	30,000,000	30,000,000	0
諸会費	1,700,000	1,700,000	0
名簿製作代	1,000,000	0	△ 1,000,000
支部活動補助金	3,000,000	3,000,000	0
各種委員会補助金	2,500,000	2,500,000	0
学術推進プロジェクト研究費補助金	2,500,000	2,500,000	0
臨床検査がイドライノ冊子製作費	3,000,000	3,000,000	0
会員証発行費用	2,500,000	500,000	△ 2,000,000
第56回、第57回総会補助金	5,000,000	5,000,000	0
共催展示会分総会補助金	12,000,000	12,000,000	0
専門医認定試験費用	2,000,000	2,000,000	0
管理医認定関係(セミナー、他)	1,000,000	2,000,000	1,000,000
教育研究会補助(GLM WS)	150,000	150,000	0
会議費	800,000	800,000	0
交通費	3,500,000	3,500,000	0
通信費、電話料	1,300,000	1,300,000	0
事務用品、印刷代、リース代	1,500,000	1,500,000	0
事務員人件費	5,000,000	5,000,000	0
事務委託費	1,500,000	1,500,000	0
事務所 賃借料	5,700,000	5,700,000	0
事務所 諸経費	560,000	600,000	40,000
事務所 備品代	500,000	500,000	0
事務所 更新料	0	500,000	500,000
水道光熱費	500,000	500,000	0
顧問料	1,025,000	1,025,000	0
法定福利費	700,000	700,000	0
消耗品費	500,000	500,000	0
雑費	700,000	700,000	0
一般社団法人への移行関係費	200,000	200,000	0
法人税・住民税・事業税・消費税	70,000	900,000	830,000
予備費	325,000	1,045,000	720,000
合 計	90,730,000	90,820,000	90,000
当年度収支差額	0	0	0
前年度繰越金	18,853,859	18,853,859	0
次年度繰越金	18,853,859	18,853,859	0

特別会計	20年度 予算案	21年度 予算案	差 額
収 入			
預金利息	90,000	90,000	0
合 計	90,000	90,000	0
支 出			
雑費	3,000	3,000	0
合 計	3,000	3,000	0
当年度収支差額	87,000	87,000	0
前年度繰越金	78,247,925	78,334,925	87,000
次年度繰越金	78,334,925	78,421,925	87,000

アジア交流基金	20年度 予算案	21年度 予算案	差 額
収 入			
預金利息	7,000	7,000	0
合 計	7,000	7,000	0
支 出			
第10回ASCPaLM(モンゴル)への補助金	0	1,000,000	1,000,000
雑費	1,000	5,000	4,000
合 計	1,000	1,005,000	1,004,000
当年度収支差額	6,000	△ 998,000	△ 1,004,000
前年度繰越金	4,755,232	4,761,232	6,000
次年度繰越金	4,761,232	3,763,232	△ 998,000

学会賞基金	20年度 予算案	21年度 予算案	差 額
収 入			
ロシュからの協賛金	1,000,000	0	△ 1,000,000
第一化学からの協賛金	500,000	500,000	0
シスメックスからの協賛金	500,000	500,000	0
預金利息	35,000	35,000	0
合 計	2,035,000	1,035,000	△ 1,000,000
支 出			
学会賞(副賞)	2,500,000	2,500,000	0
雑費	10,000	10,000	0
合 計	2,510,000	2,510,000	0
当年度収支差額	△ 475,000	△ 1,475,000	△ 1,000,000
前年度繰越金	33,813,191	33,338,191	△ 475,000
次年度繰越金	33,338,191	31,863,191	△ 1,475,000

平成 20 年度事業報告

1. 会議

総会	11月28日
評議員会	11月27日
理事会	1月20日 3月29日 8月23日 11月8日
定時社員総会	3月29日
常任理事会	1月18日 2月15日 3月4日(臨時) 3月21日 6月23日 8月13日 10月31日 12月予定

2. 学術集会 第55回学術集会 11月27日～30日(名古屋)

3. 刊行物

機関紙	第56巻1～12号	Supplement	第56巻 補冊
名簿	刊行		

4. 臨床検査専門医、管理医、研修施設 認定

・臨床検査専門医認定試験	8月2日～3日(昭和大学)
・臨床検査専門医更新	1月
・認定研修施設の認定・更新	1月・7月
・臨床検査管理医セミナー	5月10日(東京), 11月29日(名古屋)
・臨床検査管理医過渡的資格認定	12月20日

5. 会員数

	平成19年度	平成20年度(10/31)
会員数(合計)	2740名	2799名
正会員	2558名	2625名
(評議員)	(291名)	(290名)
(学生会員)	(52名)	(43名)
名誉会員	46名	42名
功労会員	136名	132名
賛助会員	49社	41社

6. 関連団体(事業)

1) 第18回日本臨床検査専門医会春季大会(神戸)	5月30日～31日
2) JCCLS学術集会(東京)	8月23日
3) WASPaLM Boston Bureau Meeting(ボストン)	8月1日～2日
4) 第48回日本臨床化学年次学術集会(浜松)	8月29日～31日
5) 第40回日本臨床検査自動化学会(横浜)	10月9日～11日
6) 日本臨床検査同学院	
・一級臨床検査士(西日本・東日本)	一次試験 10月18日
(関東)	二次試験 11月10日～25日
・二級臨床検査士(西日本・東日本)	7月26日～8月3日
・緊急検査士(西日本・東日本)	7月20日
・遺伝子分析科学認定士	6月14～15日
7) 認定検査技師機構 理事会	
8) 日本専門医制評価・認定機構 社員総会	2月28日 5月28日
協議委員会	5月8日
9) 日本臨床検査振興協議会 理事会	2月28日 5月22日 8月28日 11月20日

平成 21 年度事業計画（案）

1. 会議

総会	8月27日（予定）
社員総会	3月29日，8月26日（予定）
理事会	3月，7月～8月初旬，12月
常任理事会	適時

2. 学術集会

第 56 回学術集会 8月26日～29日（札幌）

3. 刊行物

機関紙	第 57 卷 1～12 号
Supplement	第 57 卷 補冊
名簿	刊行しない

4. 各種委員会活動

「学術推進化委員会」「編集委員会」「教育委員会」「臨床検査点数委員会」
「学会賞委員会」「標準化委員会」「精度管理委員会」「EBLM 委員会」
「倫理委員会」「ガイドライン作成委員会」「治験委員会」「検査項目コード委員会」
「広報委員会」「臨床検査室医療評価委員会」「専門医・管理医委員会」「遺伝子委員会」
「国際委員会」「審査委員会」「会則改定アドホック委員会」「医療安全委員会」
「学術集会委員会」

臨床検査専門医・管理医審議会

「研修施設・指導者認定委員会」，「受験・更新資格審査委員会」，
「試験実行委員会」，「試験委員会」，「臨床検査専門医制度検討委員会」

5. 臨床検査専門医・研修施設

・ 臨床検査専門医認定試験	7月下旬～8月初旬（慶応大学病院）
・ 臨床検査専門医更新	1月
・ 臨床検査管理医セミナー	5月（東京）・8月（札幌）
・ 臨床検査管理医資格認定	12月
・ 認定研修施設の認定・更新	1月・7月

6. 関連事業

- 1) 日本臨床検査専門医会 第 19 回春季大会 5月
- 2) 日本臨床検査標準協議会 学術集会 8月
- 3) WASPaLM 第 25 回 WASPaLM 大会 3月13～15日（シドニー）
- 4) 日本臨床検査自動化学会 第 41 回大会（横浜） 10月8日～10日
- 5) 日本臨床化学会 第 49 回年次学術集会 9月18日～20日
- 6) 日本臨床検査同学院 （認定臨床検査士試験：一級、二級、緊急、遺伝子分析科学）
- 7) 認定検査技師機構 （理事会） 1月
- 8) 日本専門医制評価・認定機構 （社員総会、協議委員会）
- 9) 日本臨床検査振興協議会 （理事会）
- 10) 各種認定制度協議会